

人と物が豊かに交流し、協働で築く 活力創造都市を目指して

(第5次総合振興計画)

1 市民主役の自治を

地方分権時代の地域づくりには、市民が自らの地域に誇りを持ち、自らの責任と努力で地域社会を築いていくことが求められます。

そこで、市民や地域がそれぞれの持つ能力を生かし、主体的に地域づくりに取り組むための仕組みづくりを進めます。あわせて、市民や地域自らも更なる「公共」の担い手となることで、市民と行政がそれぞれの役割と責任を果たしながら、協働して都市づくりを進めていく、市民を主役とする真の地方自治の実現を目指します。

2 持続的な発展を

人口減少・高齢社会を迎える中で、本市が持続的な発展を目指していくためには、市民生活の中心となる地域社会の再生・自立を図るとともに、市内の人々にとって魅力的な拠点としての機能を高めることが必要です。

そこで、日常生活圏を地域づくりの中心に据え、その中で生活の基本機能である教育や健康づくり、福祉、余暇活動等が充足できるように、きめ細かな施策を展開するとともに、地域における自治活動を強化することにより、地域社会の再生と自立を目指します。あわせて、市民生活の利便性や快適性、安全性を高めるために、また産業活動のダイナミズムを生み出すために必要な都市の“核”の形成を進めていきます。これらの取組みにより、人・物・カネ・情報が地域内で循環する仕組みづくりを進め、持続的に発展する都市づくりを目指します。

3 枕崎をブランド化

地域間競争が一層激しくなる中で、定住人口・交流人口の拡大のためには、これまで以上に都市の個性と魅力が求められており、これからの地域づくりには、優れた地域資源を多面的に生かし、都市としての独自性を創出し、情報発信していくことが重要です。

そこで、本市の発展とともに培われてきた個性ある食、生活、文化、産業、技術などを守り育て、更に磨き上げていきます。同時に、これらの地域資源が持つ枕崎のブランド力を街並み形成や観光の振興等に活用していくことにより、都市そのものを地域ブランドとして確立し、様々な面での“まくらざき”の価値を高めていきます。